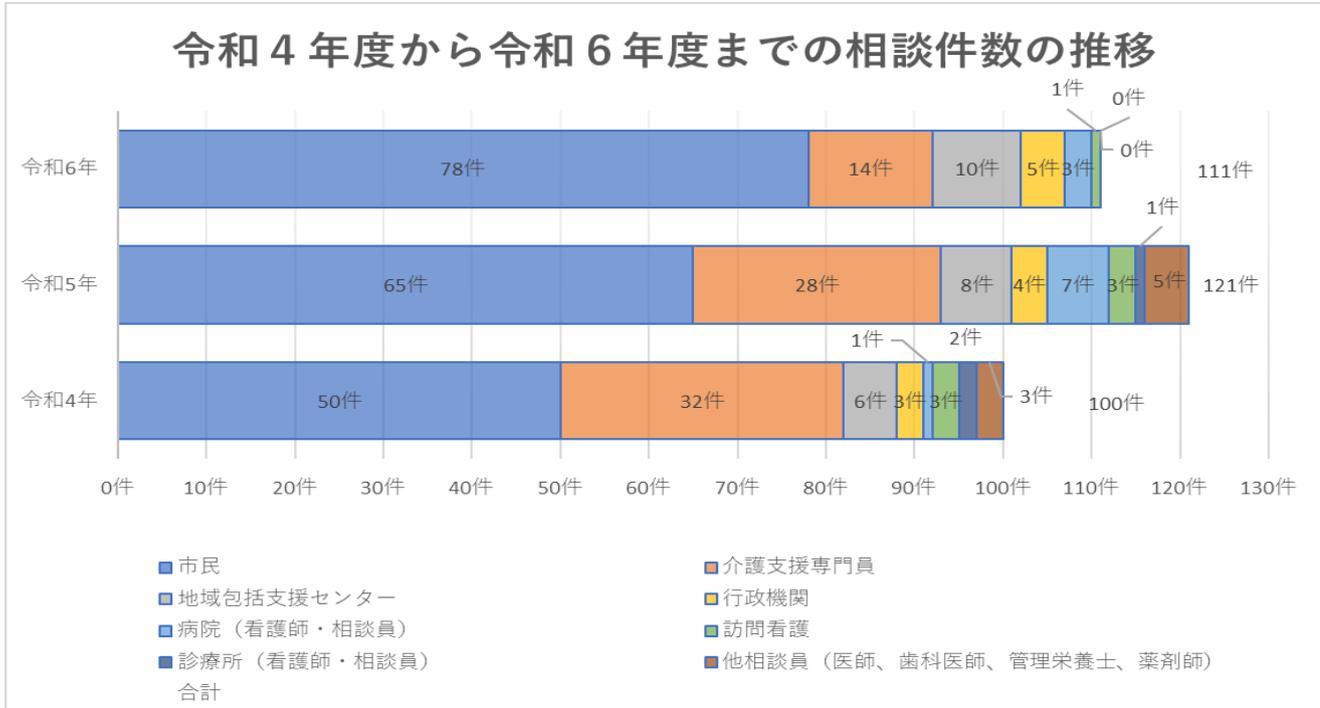


多摩市高齢者在宅療養支援窓口の令和 6 年度実績報告及び令和 7 年度活動計画

1.

(1) 令和 4 年から令和 6 年度までの相談件数の推移

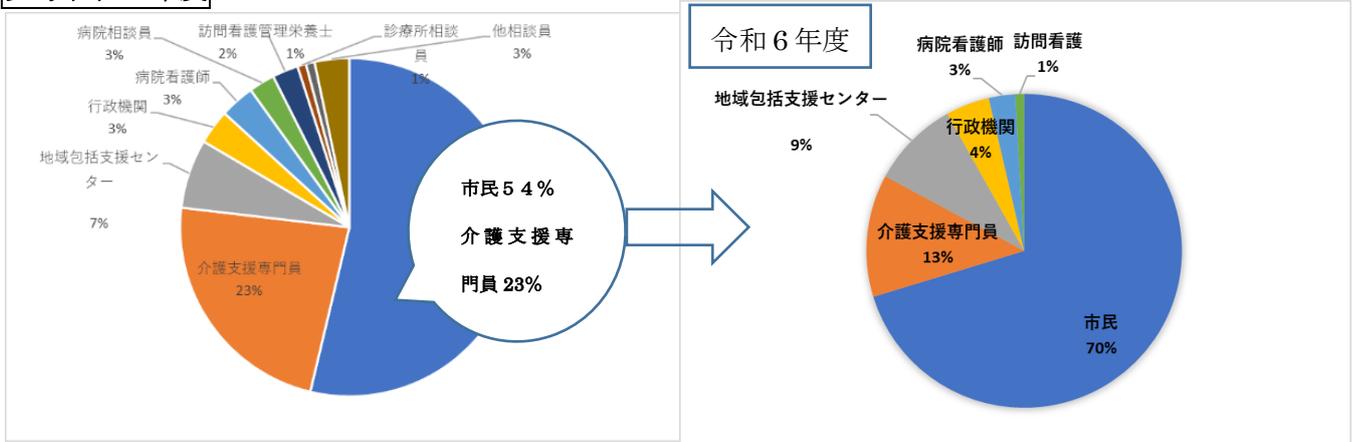


*令和 4 年度から 5 年度は 21% の増加であったが、令和 6 年度は前年度より 8% 減少している。要因としては、支援者への医師会ホームページからの医療情報収集が浸透してきたとも考えられる。逆に、市民からの相談が増加しているのは、市民への講座開催、医師会ホームページリニューアル、毎月のたま広報への掲載などから増加していると考えられる。

専門職では、市民に続き介護支援専門員からが多い。

(2) 令和 6 年度相談実績報告

参考令和 5 年度

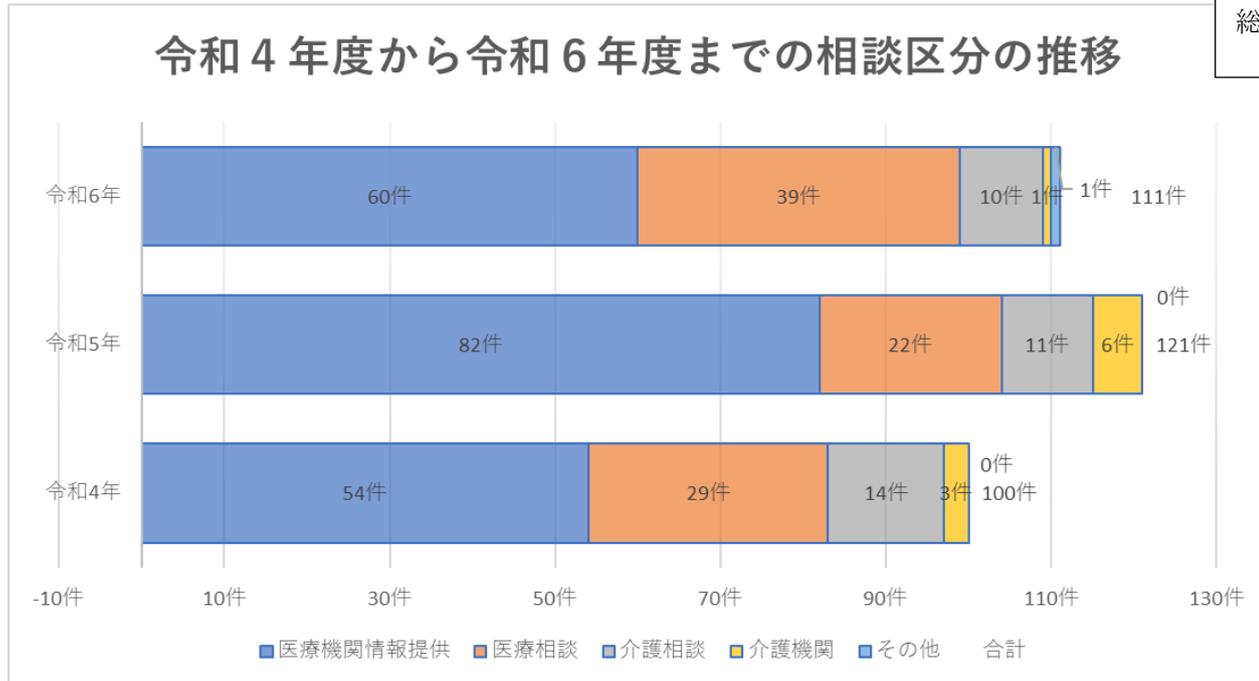


職種別相談者実数内訳

- ・医療介護関係者 30%、市民からの相談が 70% に増加している。
- ・相談方法は、電話での相談が多いが、今年度はメールでの相談 2 件あった。

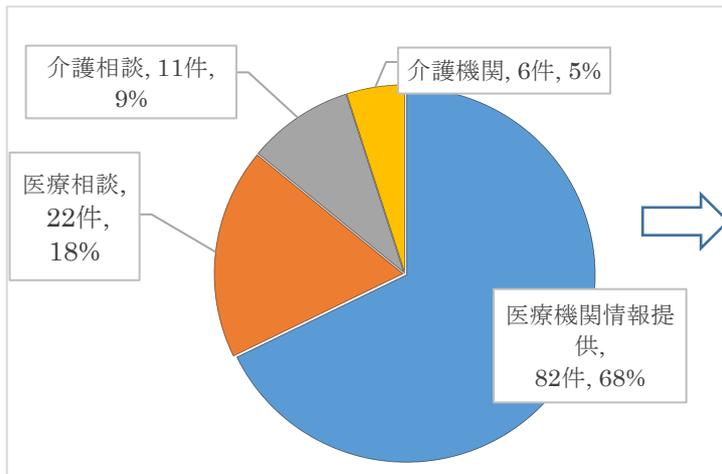
(3) 令和4年度から令和6年度までの相談内容の推移

実件数 111件
総件数 185件

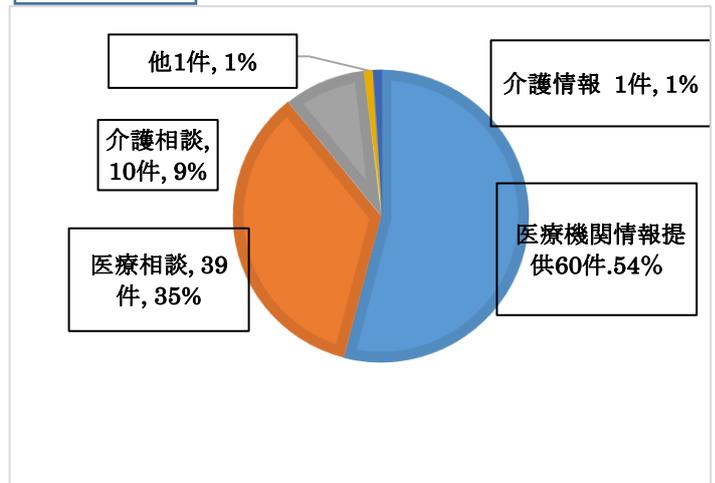


【詳細内容】令和6年度分

参考令和5年度



令和6年度



- ・ 医療機関情報提供・・・市民、専門職ともに訪問診療や専門の診療科に関する紹介が多い。
認知症と内科などの複数科受診紹介や緊急往診調整依頼もある。
- ・ 疾患に関する内容、医療相談・・・在宅療養、終末期医療、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）
意思決定支援についての相談
- ・ 介護相談・・・介護保険サービス等の利用に関すること、地域包括支援センターの紹介等
例年と同じく、医療機関情報提供が一番多い。ついで医療相談が今年は特に多く、昨年比 17%増の 35%になっている。より複雑な医療処置や専門的な療養やACPについての相談も増加している。
医療機関情報は支援者が医師会のホームページなどで見れる人も増えている。

2. 令和6年度 多摩市高齢者在宅療養支援窓口 活動報告

<令和6年度の活動実績>

項目	実績	傾向	課題
① 相談窓口周知	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会ホームページ上で窓口案内ページを更新した。多摩広報紙に在宅療養支援窓口を毎月掲載 ・コミュニティセンター、認知症カフェ等で在宅医療やACPについての講演等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民からの相談が増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療や療養について問い合わせが多い。在宅療養の市民のニーズの増加や、入退院のスムーズな移行が望まれるなか、さまざまな相談が増加すると考えられる
	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者からの相談は減少している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページが活用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりわかりやすいホームページ運用、支援者への広報
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や専門職からの依頼による講座 ・窓口ニュースを6月・12月に発行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症や看取り、ACPや意思決定支援等についての相談が増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が理解しやすい在宅療養やACPの普及
② リスト更新	<ul style="list-style-type: none"> ・病院相談窓口一覧表以外に、訪問看護ステーションリスト、他科併用医療機関リスト（内科と認知症等）を更新、ホームページ上で閲覧可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員部会や介護保険事業者連絡会などで周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職からも併用医療機関の紹介依頼が多い。緊急時往診依頼や緊急入院や精神科入院依頼なども増加している。 ・医師会のホームページの更新と情報活用が必要
③ 連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会と訪問看護ステーション連絡会を企画・運営。連絡会は年2回実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔が見える関係が強化されている。訪問看護師以外の多職種にも拡大した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療介護連携や災害時等の多職種連携情報共有などが必要。ICT（MCS等）の活用がさらに必要になる。
④ 近隣市連携	<ul style="list-style-type: none"> ・5市（稲城・日野・八王子・町田・多摩）の窓口連絡会を年2回実施。MCSを利用し継続相談する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣5市でメディカルステーション（MCS）グループの利用で、速やかに相談対応出来る体制が整ってきている。 ・市境の方の診療紹介依頼がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市境の方の相談が困難、情報収集がしにくい。

「講座」

9/18 北部包括見守りで認知症の話	12名
11/27 中沢地区で在宅医療・療養について講話	32名
2/8 関戸公民館にて在宅療養について講演会	50名
3/3 落合健康クラブにて在宅療養について講演	35名
3/23 すみれ会認知症カフェにて、人生会議講演	12名

3. 令和7年度の計画

	項目	実施内容	実施時期・回数
① 相談 窓口 周知	<ul style="list-style-type: none"> ・周知活動や広報の方法を検討。 ・窓口ニュースの内容、ホームページ内容充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の窓口ニュースの発行を継続。 Q&A集作成 ・医師会ホームページの内容を修正。 ・市民向けの在宅療養について講演会等を実施。 ・多摩市広報（特集号掲載）と福祉のしおり、多摩市の便利な本への掲載。 	6・12月 秋 随時 ・11月号
② リス ト更 新	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプロ等への掲載で周知。支援者向けに特化した周知活動を実施。 ・在宅医療リストを活用できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院相談窓口一覧表、訪問看護ステーションリスト、他科併用医療機関リスト(内科と認知症等)の更新と、利用方法の周知。 	年1回 6月～8月
③ 連携 強化	<ul style="list-style-type: none"> ・連携強化のための顔の見える関係づくりの支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療リスト作成し、訪問診療往診可能リスト更新。(ホームページ上で閲覧) ・医師会と訪問看護ステーションとの連絡会を多職種拡大で、企画・運営。連絡会は年2回実施。 	5月 6・11月
④ 近隣 市連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣5市の継続的な連携強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5市(稲城・日野・八王子・町田・多摩)の窓口連絡会を年2回実施。 MCSを利用し継続相談する。 	5・11月